

子ども患者さんの権利

あなたは、いつでもひとりの人間として大切にされ、あなたの成長や発達のことを、どんなときにもいちばんに考えた医療を受けることができます。病気を治すためには、あなたとあなたの家族や病院の医師、看護師たちが、おたがいに力を合わせていくことが大切です。

わたしたちは、このような考え方でつくった「子ども患者さんの権利」（あなたのために、病院の人やあなたのご家族、そしてあなた自身も守らなければならない決まりごと）を守って、あなたを助けていきます。

- ① あなたは、病気や障害、年齢に関係なく大切にされ、あなたらしく生きる権利をもっています。
- ② あなたは、医療を受けるとき、「あなたにとってもっともよいことか」をいちばんに考えてもらえる権利をもっています
- ③ あなたは、病気になった時に安心・安全な環境で生活できるよう、支えられる権利をもっています。
- ④ あなたは、病院にいるときは、お父さん、お母さん、あなたの大切な人と一緒にいる権利をもっています。
- ⑤ あなたは、じぶんのことに関するすべての情報について分かりやすく説明を受け、あなた自身の方法でじぶんの考えを伝える権利をもっています。
- ⑥ あなたは、じぶんの気持ちのとおりにならなかった時は、その理由などについてわかりやすく説明してもらえ権利をもっています。
- ⑦ あなたは、あらゆる面において、差別されることなく、あなたを傷つけるあらゆる行為から守られます。
- ⑧ あなたは、あなた自身のことを勝手にだれかに言われない権利をもっています。
- ⑨ あなたは、病気のときも遊んだり、学んだりしてあなたらしく生活する権利をもっています。
- ⑩ あなたは、訓練を受けて技術を身につけた専門スタッフから医療とケアを受け、今だけでなくこれから先も続けて、医療やケアを受ける権利をもっています。

※ この「子ども患者さんの権利」は、日本小児科学会の「医療における子ども憲章」を基本に、小児医療の特性に配慮し、策定したものです。